

三菱製紙が王子ホールディングスと資本業務提携 今後の業務提携効果に注目

以下は、三菱製紙株式会社（証券コード：3864）が王子ホールディングス株式会社（証券コード：3861）との資本業務提携を発表したことについての、株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

見解

- (1) 18年2月6日、当社と王子ホールディングス（長期発行体格付：A+p）は、資本業務提携に関する資本提携契約の締結、第三者割当による王子ホールディングスに対する当社の新株式の発行について、取締役会で決議したと発表した。その他、王子ホールディングスは、当社の一部株主からも株式を取得する予定である。また、今後両社は具体的な業務提携に関して協議・検討し、第三者割当増資の払込みまでに業務提携契約を締結する予定である。
- (2) 資本提携の実行により、王子ホールディングスは当社の総議決権の33%にあたる株式を所有する予定で、当社は王子ホールディングスの持分法適用会社となる。業務面では、両社は既に情報用紙事業で提携関係にあり、バイオマス発電事業や家庭紙事業においても合併会社を立ち上げている。今後は、さらに協業関係の強化を図る方針である。
- (3) 本件資本業務提携は、当社の格付に直ちに影響を及ぼすものではない。当社の資本規模に照らせば、76億円の資本払込みは財務面でプラスに作用する。一方で、当社では、国内洋紙分野の厳しい事業環境を背景に足元の収益はJCRの想定を下回っている。収益改善に向けて、王子グループとの業務面での連携は極めて重要な要素になると考えている。予定されている業務提携契約を通じて、当社では営業利益で25億円以上の改善効果（22/3期までに）を見込んでおり、国内洋紙事業での競争力強化を中心とする効果発現の動向に注目している。

（担当）本西 明久・青野 恭久

【参考】

発行体：三菱製紙株式会社

長期発行体格付：BBB-

見通し：安定的

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル